



西脇市Facebookでも情報発信中！紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。



阿波尾鶏が学校給食に登場

徳島県の特産品である「阿波尾鶏」が小中学校の給食に登場。児童生徒たちはニンジン、タマネギ、ジャガイモなどを使った特別メニュー「あわおどりじゃが」を味わいました。

関西の府県域を超えて特産農林水産物の消費を図る取り組み。徳島県職員が芳田小学校を訪れ、4年生～6年生が阿波尾鶏やすだち、鳴門金時といった県内の特産品を学習。それぞれの特徴や生産過程について理解を深めました。〔12月9日〕



ランタンに思い乗せて

JR加古川線の利用促進を図ろうと開かれたイベントで、来場者が路線への思いを書いたランタンを夜空に浮かべ、幻想的な光景を楽しみました。

催しは沿線にある西脇市と丹波市の地域住民でつくる協議会などの主催で、駅周辺の活性化に取り組む「リレーマルシェ」の一環。日本へそ公園駅前の広場では、飲食や物販のブースが並んだほか、ダンスパフォーマンスがあり、多くの鉄道利用客でにぎわいました。〔11月22日〕



選抜チームが元女子バレー日本代表と夢の対戦

バレーボール女子元日本代表選手たちと交流する「ドリーム・バレーボール」で、元全日本男子監督の植田辰哉さんのほか、ロサンゼルスオリンピック銅メダリストの江上由美さん、宝来麻紀子さん、佐野優子さんら12人のオリンピックや世界選手権出場経験者でつくる「ドリームチーム」が来西。選抜チームとの親善試合では市内外から集まった912人が観戦し、繰り広げられる迫力あるプレーに大きな拍手を送りました。

親善試合を前に開かれた教室では、ドリームチームの選手がレシーブやトスなどの技術を身ぶり手ぶりを交えながら指導。指導者講習では、各チームの監督やコーチが、技術指導のポイントなどを教わりました。

イベントは市制20周年記念事業として、市と兵庫県などが主催。〔12月13日～14日／総合市民センター〕



12組が華麗な歌声披露

東播磨、北播磨の両地域で活動するコーラス団体12組が「東はりまコーラス大会」で合唱を披露。大会は芸術文化の振興を図ろうと、成果発表と交流の場として開かれるもので、今年が50回目。〔12月7日／市民交流施設〕



福祉に関心と理解を

市内の重度障害者通所施設を利用する皆さんが西脇高校生製作の衣装を身にまとい、いきいきふれ愛まつりの舞台に登場。催しは福祉に関心と理解を深めてもらおうと、毎年開かれています。〔11月22日／市役所・市民交流施設〕



探究学習の成果発表

西脇南中学校が総合的な学習の時間で取り組んだ探究学習の成果を発表。播州織をテーマに西脇高校生とともに学習し、発表会では中学3年の12人がモデルになってファッションショーを披露しました。〔12月12日〕



鈴木啓示さんたたえ「草魂カップ」

西脇市出身の元プロ野球選手・鈴木啓示さんの名を冠した「第13回鈴木啓示『草魂カップ』学童軟式野球大会」に、県内の32チームが出場。米田少年野球クラブ（加東市）が初優勝を飾りました。

大会は通算317勝を挙げた鈴木さんの偉業をたたえ、西脇軟式野球協会などで行う実行委員会の主催。〔11月29日～30日、12月6日／市内〕



整備中のバイパスがキャンパスに

近畿地方整備局兵庫国道事務所が整備中の国道175号西脇北バイパスを使って開いたお絵かきイベントに、沿線のつまこども園の園児35人が参加。アスファルト舗装前の道路をキャンパスに見立て、思い思いの絵をチョークで描いていました。

また、バックホウの乗車も体験し、笑顔で記念写真に納まっていました。〔11月27日〕